

優秀賞

## 母は私のスーパーヒーロー

静岡県 多賀小学校 五年  
小松 舞華

私はおぼんに、家族でぼんおどりに行きました。金魚すくいやヨーヨーつりもやっていて、私と妹はぼんおどりよりも遊びに夢中になってしまいました。たくさん遊んで、お父さんとお母さんのいる席にもどると、お母さんがいなかったので「お母さんは？」とお父さんに聞くと、「あっちだよ。」と指をさしたので、その方を見ると、車いすに乗ったおじいさんとおばあさんとぼんおどりの輪の中にいました。

私は、（ああ。介護士をしているお母さんのかん者さんなのかな？）と思いました。

お母さんは、車いすをおしてあげたり、おどっているおばあさんの写真をとったり、うちわであおいであげたり、にこにこしながらお手伝いしていました。私は、

（あんなに楽しそうにお手伝いしているんだから、かん者さんじゃなくて知っている人なのかな？）と今度は思って、お父さんに「あの人たちはお母さんの知り合いなのかな？」と聞くと、「知らない人だと思うよ。」と言うので「え？」と聞き直すと、

「おばあちゃんがおじいちゃんの手いすをおしいてるのを見て、行っちゃったよ。お母さん、おせっかいだからなあ。」と笑っていました。

さっきまで「暑い、暑い。動きたくない」と言って、すわってばかりのお母さんが、知らないおじいちゃんとおばあちゃんのためにお手伝いに行ったなんて。私は、早くお母さんのお話を聞きたくて、その場に立ったまま待っていました。すると、音楽が止まって、お母さんがもどってきました。

「お母さん！ 何したの？」

するとお母さんは、「何したのって何よ？ ぼんおどりしてきたんだよ。」と言うので、「お母さん、ぼんおどり得意なの？」と聞くと、お母さんは大きな声で笑いました。

「ぼんおどりなんて、おどれないよ。おどれないから見てたら、あそこにいるおじいちゃんとおばあちゃんが見えたの。ゆかたを着てすてきでしょ。おばあちゃんは、手びょうししながら車いすもおして……。忙しそうに見えたから、お手伝いに行ったんだよ。」

私は、お母さんが人のために行動したことがすごいと思いました。そして、

「せっかくだから、おばあちゃんおどって！ おじいちゃんに見せてあげて！ って言ったんだよ。そしたらおばあちゃん、『いいの？』ってよろこんでくれて、おじいちゃんもすごくうれしそうだし。そんな顔を写真に残してあげたくて、写真もとったんだ。お母さん、汗びっちょりだよ。」と笑っていました。

知らない人のために行動して笑顔にするなんて、お母さんはヒーローだな、と思いました。

「お母さんすごい！ でも声かけてことわられたらどうしよう、とか思わなかったの？」と聞くと、「ことわられたら、大きなお世話だっただけじゃん。」と笑っていました。

「親切かどうかは受け取る人の気持ちだから。結果は気にしないで、自分の心が正しいと思うことはやるべきだね。」

と、ちょっと得意気に笑うお母さんを、私は自まんに思いました。